

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修
グループ討議成果物

チェックシートでニーズを探れ！

～インタビューを深めよう～

テーマ：e指導内容 / 8班

発表日：2013/11/29
会場：国立情報学研究所

私たちの悩み

- 講習会で学生が寝ている(涙)
- ガイダンスを聞いたはずなのにツールが使えない(?)
- 講習会を開いても人が集まらない
- 去年と同じ内容でいいの??
- 担当者がツールの重要性を実感できていない

原因

利用者のニーズを
把握していない！

私たちの解決策

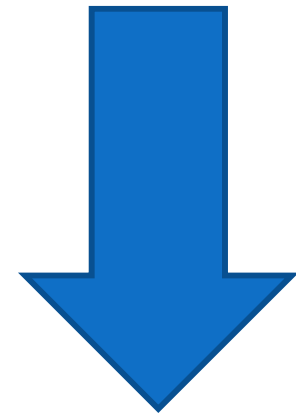
- ① インタビューをする
- ② モチベーションを作る

具体的な提案

わからないなら聞くしかない！

インタビューチェックシートの活用

インタビューチェックシートとは??



インタビューチェックシートとは

申込者と担当者の

「こんな学生になりたい/なってほしい」

を共有するためのツール

- 申込者と対面で事前打ち合わせを行う際に使用する

チェック欄	項目	ヒアリング内容
	目指す学生像 (講習会を通じて、どんなアウト プットを求めているか)	例:参考文献をつけたレポートを書けるよ うになってほしい 例:とにかく専門分野の論文を読ませた い
	講習会でとりあげる課題 (学生のモチベーションが重要で あることを説明)	例:学期末にレポートを予定 例:講習会に合わせて小レポートを設定 する

インタビューチェックシートの利点

＜先生・学生側＞

- ★問題意識を共有できる
- ・ヒアリングによって新たな気づきがある
- ・短時間で打ち合わせができる

＜図書館側＞

- ★問題意識を共有できる
- ・掘り下げるポイントを明確にできる
- ・聞き落としがない
- ・引継ぎがしやすい
- ・担当者の責任感がでる

こんな流れでどうでしょう？

1. 広報（カリキュラム作成時期をねらって）
2. 受付（日時・場所・人数のみ）
3. ヒアリング（対面でインタビューを行う）
チェックシート登場！！
4. チェックシートの分析
5. 講習会実施（満足度・理解度を必ず聴取）
6. フィードバック（学生・教員からの意見確認）
7. 担当者間の共有（次回への反映）

チェックシート

- どういう学生になってほしいのか(具体的に)
- 今現在学生に何ができるのか
- どのツールを教えてほしいのか
なぜそのツールが必要なのか
どの機能が重要なのか
→ **新たなニーズの把握**(他のツールの見直し・紹介)
- 課題設定の相談
→ **モチベーションを作る**
- その他実務的なこと(機器確認・TAの有無)

その他重要なこと

- 課題の設定

講義型からの脱却

- 講義直後の意見聴取と回答

直後または1か月後に教員に聞く

授業との関係はどうか？

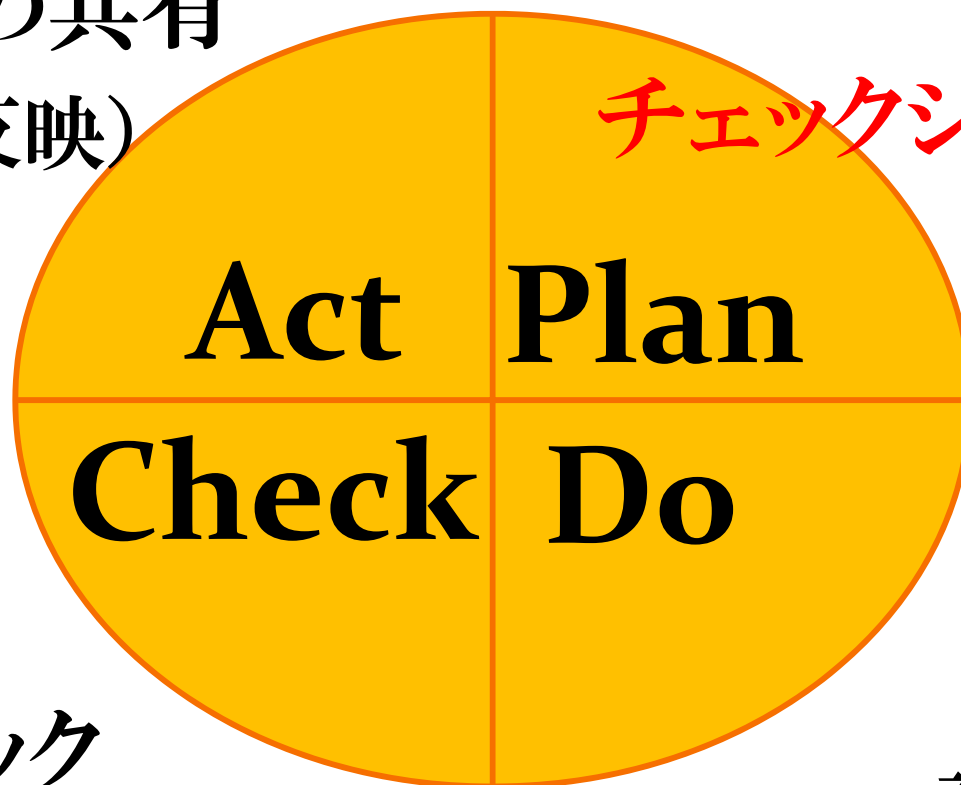
- 蓄積されたチェックシートの見直し・共有

PDCAサイクルで見直す

担当者間の共有
(次回への反映)

インタビュー

チェックシートの分析



フィードバック
(学生・教員からの意見確認)

講習会の実施

私たちの解決策

① インタビューをする

⇒チェックシートを活用

② モチベーションを作る

⇒レポート課題を出す

利用者のニーズを把握できた！